

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅰ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年 4 月 14 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 ・ 急性期看護： 4 時間 ・ 援助論       ： 26 時間	
担当講師名	外部講師 古舘 勇一	所属/役職	県立宮古病院 看護師	
		資格・免許	救急認定看護師	
	専任教員 石崎美由紀	所属/役職	専任教員	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	健康問題を抱えた成人の具体的看護方法を学ぶ			
到達目標	成人を対象とした具体的看護実践の内容と方法がわかる			
事前学習内容	「成人看護学概論」で学習した内容を復習して臨む（提出の指示はなし）			
成績評価の方法	試験 100 点			



令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅱ (呼吸器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和4年10月31日	単位数/時間	1単位/30時間 成人看護援助論Ⅱは以下の3単元で構成される <u>呼吸器：10時間</u> 循環器：10時間 消化器：10時間
担当講師名	三浦穂乃香	所属・役職	岩手県立宮古病院・看護師
		資格・免許	看護師
授業の概要	呼吸器系に疾病や障害を有する人々の看護を学ぶ		
到達目標	1. 呼吸機能障害がもたらす生命・生活への影響を理解する 2. 呼吸機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	成人看護学②呼吸器　メヂカルフレンド社　第4版		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編　呼吸器疾患患者の看護 第1章　看護の基本		講義
第2回	第2章　主な症状に対する看護 第3章　主な検査・治療に伴う看護		
第3回	第3章　主な検査・治療に伴う看護		
第4・5回	第4章　呼吸器疾患をもつ患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅱ (循環器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年 令和4年	単位数/時間	1単位/30時間 成人看護援助論Ⅱは以下の3単元で構成される ・ 呼吸器：10時間 ・ <u>循環器：10時間</u> ・ 消化器：10時間
担当講師名	中澤恵美子	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	循環器系に疾病・障害を有する人への看護を学ぶ		
到達目標	循環機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…循環器系(心・血管系)を中心に ・ 疾病と治療Ⅱ(循環器)		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	成人看護学③循環器　メヂカルフレンド社　第5版第2刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編　循環器疾患患者の看護 第1章　看護の基本		講義
第2回	第2章　主な症状に対する看護		
第3回	第3章　主な検査と治療に伴う看護		
第4・5回	第4章　循環器疾患をもつ患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (消化器系看護)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和4年5月13日	単位数/時間	1単位/30時間 呼吸器系看護：10時間 循環器系看護：10時間 <u>消化器系看護：10時間</u>  3単元を合わせて1単位
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	消化器系に疾病、障害を有する人々に対する看護の方法を学ぶ		
到達目標	消化器系疾患や消化器症状のある患者に対する看護を理解し、臨床場面で応用できる		
事前学習内容	消化器系の解剖生理について、復習してから講義に臨むこと		
成績評価の方法	終講試験、授業態度を踏まえて評価する（著しく態度が悪い場合は減点）		
使用テキスト	成人看護学⑤ 消化器 第5版. メジカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編 第1章 看護の基本 p296～330		講義
第2回	第2編 第2章 主な症状に対する看護 p332～370		講義
第3回	第2編 第3章 主な検査・治療に伴う看護 p372～448		講義
第4回	第2編 第4章 消化器疾患をもつ患者の看護 p450～523		講義
第5回	事例検討、まとめ		講義・GW
	終講試験		
履修上の留意点	・わからない事はそのままにせず、自身で調べて学習を深めていくこと		

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅲ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年 5 月 19 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ <u>外科看護総論</u> ：10 時間 ・ 外科看護各論：10 時間 ・ 脳神経：10 時間	
担当講師名	外部講師 岩崎 孝思	所属/役職	県立久慈病院主任看護師	
		資格・免許	手術看護認定看護師	
	外部講師 佐々木 光春	所属/役職	県立宮古病院主任看護師	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	外科的治療を受ける患者への看護を学ぶ。この単元においては、急性期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ			
到達目標	周手術期にある患者の特徴を理解し、外科的治療を受ける患者の看護の目的や役割について学ぶ			
事前学習内容	教科書や関連文献を読み、予習したうえで授業に臨むこと			
成績評価の方法	筆記試験 岩崎講師 担当分：40 点 佐々木講師 担当分：60 点			
使用テキスト	医学書院 臨床外科看護総論			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態	担当
第 1 回	第 6 章 周術期看護の概論（テキスト p202～213） A. 手術を受ける患者の状況 B. チーム医療と看護師の役割 C. インフォームドコンセント D. 周手術期における安全管理 第 7 章 手術前患者の看護（p228～259）		講義	岩崎
第 2 回	第 8 章 手術中患者の看護（p 262～304）		講義	岩崎
第 3 回 第 4 回	第 9 章 手術後患者の看護（p 306～353） A. 手術後の回復を促進するための看護 B. 術後合併症の発生機序 C. 起こりやすい術後合併症の予防と発症時の対応 D. 自己管理に向けた援助		講義	佐々木
第 5 回	第 11 章 手術を受ける高齢者の看護（p 382～394）		講義	佐々木
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する			

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅲ (外科各論)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年    月    日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・    外科総論：10 時間 ・ <u>外科各論：10 時間</u> ・    脳神経   ：10 時間	
担当講師名	古澤優子	所属・役職	岩手県立宮古病院    看護師長補佐	
		資格・免許	認定看護師	
	佐々木亮	所属・役職	岩手県立宮古病院    看護師	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	外科的治療を受ける患者の看護を学ぶ。特に本単元では、急性期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ			
到達目標	外科的治療を必要とする各疾患において、身体損傷に伴う苦痛や、臓器喪失に伴う機能障害、身体像の変化、生活様式の変更などに対する具体的な看護実践の方法を理解する			
成績評価の方法	筆記試験(100 点)                      [    古澤講師    担当分：20 点                      佐々木講師担当分：80 点                      ]			
使用テキスト	(1) 臨床外科看護各論    医学書院                      ・ ・ ・ 全 5 回で使用 (2) 成人看護学⑨    女性生殖器    医学書院 ・ ・ ・ 第 2 回で使用			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師	授業形態
第 1 回	頭部・頸部疾患患者の看護		佐々木	講義
第 2 回	乳房切除術患者の看護、肺・胸部疾患患者の看護		古    澤	講義
第 3 回	食道癌手術患者の看護、胃切除術後の看護		佐々木	講義
第 4 回	膵・胆管・肝手術患者の看護、小児外科看護、大腸手術患者の看護、直腸癌手術患者の看護		佐々木	講義
第 5 回	人工肛門造設患者の看護		佐々木	講義
履修上の留意点	1.    教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2.    分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する			

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅳ (内分泌・代謝)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和4年	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は運動器、血液・造血器、内分泌・代謝の各単元10時間で構成される
担当講師名	箱石 恵子	所属・役職	岩手県医療局 業務支援課 副看護指導監
		資格・免許	看護師
授業の概要	内分泌・代謝系に疾病、障害を有する人々への看護を学ぶ。特にこの単元では、慢性期にある患者の事例をとおし、その看護を学ぶ。		
到達目標	内分泌・代謝系の機能障害をもつ患者の健康の維持・回復に向け、具体的な看護実践を学ぶ		
事前学習内容	1年次に履修した、内分泌・代謝に関する授業の内容(解剖学、生理学、疾患)を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	医学書院 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 内分泌・代謝の看護を学ぶにあたって 内分泌・代謝疾患の患者の特徴と看護の役割		講義
第2回	第6章 患者の看護 A. 疾患をもつ患者の経過と看護		
第3回	第6章 患者の看護 B. 内分泌疾患患者の看護		
第4回	第6章 患者の看護 C. 代謝疾患患者の看護		
第5回	第7章 事例による看護過程の展開 2型糖尿病患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける 4. 解剖生理学、病態学(内分泌・代謝)、看護技術(指導技術)、成人保健などで学んだ知識を復習し、学びを深められるように受講する		



令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅳ (運動器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年 令和4年	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・運動器：10時間 ・血液・造血器：10時間 ・内分泌・代謝：10時間
担当講師名	山崎 裕之	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	運動器に疾病・障害を有する人々への看護を学ぶ。特にこの単位では、慢性期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ		
到達目標	1. 運動器疾患が患者に与える影響を考え、看護に必要な情報とアセスメントの視点を理解する 2. 疾病の経過別、時期別、症状や障害に対する看護を理解する		
事前学習内容	1年次の疾病と治療Ⅳ(運動器)の授業内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	メジカルフレンド社 成人看護学⑪ 運動器		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2編運動器疾患患者の看護 第1章 看護の基本 I. 運動器疾患と看護の役割 II. 情報収集とアセスメント III. 経過別に見た生じやすい問題と看護 IV. 看護の場とその特徴)		講義
第2回	第2章 主な症状・障害に対する看護		講義
第3回	第3章 主な検査と治療に伴う看護		講義
第4回	第4章 運動器疾患をもつ患者の看護		講義
第5回	第4章 運動器疾患をもつ患者の看護		講義・演習
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅴ (女性生殖器系看護)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和4年9月22日	単位数/時間	1単位/30時間 アレルギー・膠原病看護:10時間、女性生殖器看護:10時間、腎・泌尿器看護:10時間の3単元を合わせて1単位
担当講師名	千葉 勝子	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師・助産師 アドバンス助産師
授業の概要	女性生殖器系に疾病・障害を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ。この単位では、回復期にある患者の事例をとおり看護を学ぶ		
到達目標	女性のライフサイクルでの特徴と疾患、治療、看護の特徴を理解する 女性生殖器疾患患者の、経過や治療に応じた看護について理解する		
事前学習内容	1) 女性生殖器疾患の病態を復習し講義に臨むこと 2) 事前に教科書に目を通しておくこと		
成績評価の方法	筆記試験(100点満点)		
使用テキスト	成人看護学〔9〕女性生殖器(第15版), 医学書院, 2019.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 女性生殖器看護を学ぶにあたって 医療の動向と看護、患者の特徴、看護の役割 第6章 患者の看護 疾患の経過と看護、外来・病棟における看護、診療介助における看護		講義
第2回	第6章 患者の看護 症状とその病態に対する看護、臓器別疾患・機能的疾患患者の看護		講義
第3回	第6章 患者の看護 手術を受ける患者の看護 化学療法を受ける患者の看護、放射線療法を受ける患者の看護 ホルモン療法を受ける患者の看護、体外受精を受ける患者の看護		講義
第4回	看護過程の展開、グループワーク		講義・GW
第5回	看護過程の展開、グループワーク まとめ		講義・GW
履修上の留意点	・ 不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること		

令和4年度 59 回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅴ (腎・泌尿器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2 年 令和 5 年 1 月	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 腎・泌尿器・：10 時間 ・ アレルギー・膠原病：10 時間 ・ 女性生殖器：10 時間
担当講師名	講師名	所属・役職	資格・免許
	藤村 舞子	岩手県立宮古病院・看護師	看護師
授業の概要	腎・泌尿器系に疾病・障害を有する人々の健康回復に向けた具体的な看護実践を学ぶ。また、回復期にある患者の事例をとおり、その看護実践を学ぶ		
到達目標	腎・泌尿器の機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	腎・泌尿器系に関する既習の内容(解剖学、生理学、疾患)を復習してから授業に臨む		
成績評価の方法	試験 (100 点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧腎・泌尿器(第 15 版), 医学書院, 2020.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 1 章 腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって A. 医療の動向と看護 B. 患者の特徴と看護の役割 第 6 章 患者の看護 I. 疾患をもつ患者の経過と看護		講義
第 2 回	第 6 章 患者の看護 II. 症状に対する看護		
第 3 回	第 6 章 患者の看護 III. 検査を受ける患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護		
第 4 回	第 6 章 患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護 C. 透析療法を受ける患者の看護		
第 5 回	第 6 章 患者の看護 V. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおりしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む		

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅴ (膠原・アレルギー)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和5年1月20日～2月	単位数/時間	1単位/30時間 <u>膠原・アレルギー看護：10時間</u> 女性生殖器看護：10時間 腎・泌尿器看護：10時間
担当講師名	石崎美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	アレルギー・膠原病を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ		
到達目標	アレルギー・膠原病疾患患者の看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	1) 疾病と治療Ⅴ「膠原・アレルギー」の復習をして授業に臨む		
成績評価の方法	1) 課題の取り組み内容（20点；グループワークの成果物で評価） 2) 終講試験（80点）		
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギー膠原病感染症（第15版）, 医学書院, 2020. 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚（第15版）, 医学書院, 2021.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	アレルギー疾患患者の看護（第5章：テキスト p58～108） 気管支喘息患者の看護／アナフィラキシー患者の看護		講義
第2回	膠原病患者の看護（第6章：テキスト p178～214） 全身性エリテマトーデス患者の看護／関節リウマチ患者の看護		講義
第3回	アレルギー疾患／膠原病患者の看護についてグループワーク		グループワーク
第4回	グループワークの成果発表（1）		発表会
第5回	グループワークの成果発表（2）／まとめ		発表会 講義
履修上の留意点	(1) 主体的な学習を目的にグループによる学習の方法を取り入れました。協力しながら進めてください。成果物は直接評価に反映されます。 (2) 毎回テキストの他に、各自で必要な参考書を準備して持参してください。		